

# 第2回 全国防災対策会議 報告書



2014年11月1～2日に福島県郡山市で開催いたしました、「第2回全国防災対策会議」の報告書を発行しました。同会議では、東日本大震災支援に関する協議と地域災害支援に関する協議が行われ、大規模災害に対する支援活動及び情報伝達・避難行動・ネットワークづくりに関する事例報告、地域での成果が報告されました。また、新たな課題も提示されています。その内容は、これから防災活動を進められる地域だけでなく、すでに防災活動を行われている地域でも参考となるものです。会議詳細内容と豊富な資料が収録された本書を、地域の防災・減災・支援体制構築のため、防災会議、学習会等でぜひご活用ください。

体裁：A4判 120頁 頒布価格：1,000円

## <掲載内容>

1. 基調報告
2. 講演「原子力発電所と災害～福島で暮らして」山本おさむ氏
3. パネルディスカッション「東日本大震災から三年～災害の現場から」
4. 東日本大震災支援「復興支援の在り方について」
5. 地域災害支援「防災について地域の取り組みと学習活動」…他

## <収録資料例>

- ★「防災についての全国調査」★「災害に係る活動マニュアル」
- ★「聴覚障害者災害救援対策本部支援活動マニュアル」★その他、地域協定書等

## ◆【基調報告】より

もし何か起こった場合は、ろう者の場合はテレビ報道を見てもわかりません。字幕・手話も付いていません。最近ではテレビに字幕が付くようになりましたが、すべてに付いているわけではありません。ですから情報アクセスという面について皆さんと共に考えなくてはならない課題がたくさんあります。

## ★【総括】より

東日本大震災から学んだことが、ここに4つあります。1つ目はネットワーク作りが必要だということです。2つ目は国との関係、連絡。行政との関わりがとても大切だということです。3つ目が情報提供施設などの社会資源、人的支援です。例えば精神面、メンタル面の支援や、ろうあ者相談員のメンタル支援、そういう支援が必要だということです。4つ目は、昨日福島の小林事務局長からお話があった中に、他の障害者団体の支援から得た情報が非常にありがたかったと聞きました。他の障害者団体と一緒にやって行くことの大切さを、そこから学んだそうです。

●本書の売上は「聴覚障害者災害救援中央本部」の活動資金にあてられます

■発行 聴覚障害者災害救援中央本部

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階一般財団法人全日本ろうあ連盟内  
TEL 03-3268-8847 FAX 03-3267-3445 <http://www.jfd.or.jp/saigai>

# 手話で防災

～聴覚障害者の災害時支援のために～



A5判 54頁  
定価 500円+税

◆聴覚障害や防災について初めて勉強する方でも安心！

知っておきたい知識をわかりやすく説明！聴覚障害や防災のことをよく知らないという方にも読みやすい内容になっています。

◆災害時の聴覚障害者への支援について分かる！

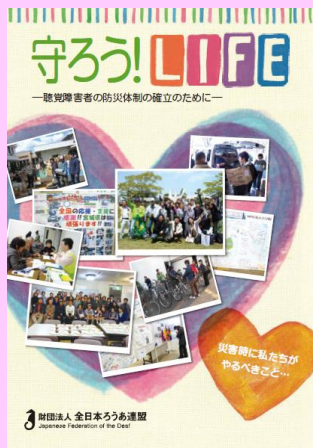
本書では、災害がおきたときに街や近所また避難所での「聴覚障害者への支援」についてはもちろん、情報保障について、聴覚障害者自身や災害への備えについて学べます。

◆災害関連の手話だけでなく、会話の文例も学べる！

「コミュニケーション」「災害」「原子力」「生活」「医療」の分野を網羅した災害関連手話単語を、120語収録しました。また、「緊急時」「避難所等」での会話文も載せ、災害時に聴覚障害者とのコミュニケーションを学べるようになっています。

# 守ろう！LIFE

—聴覚障害者の防災体制の確立のために—



A4判 96頁  
定価 1,300円+税

◆防災活動をされている方に広く知っていただきたい！

県や地域で、防災活動のリーダーをされている方等に広く知っていただきたいことや、災害時の支援活動に必要な内容を中心にまとめました。

◆防災体制の構築や災害時の支援活動が分かる！

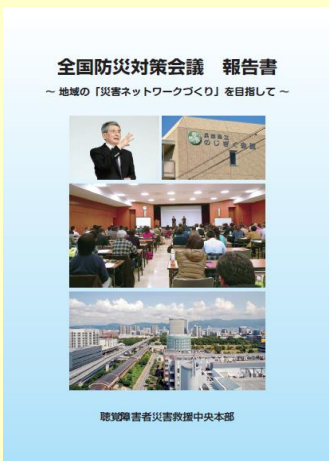
本書は、災害時の初動体制や安否確認、災害救援現地本部の平常時の取り組みなどを図解入りでまとめています。地域で防災体制の構築や災害時の支援活動について、また聴覚障害者自身の災害への備えについて学習できます。

◆東日本大震災聴覚障害者救援活動から学ぶ！

東日本大震災のとき、聴覚障害者や手話通訳者はどのように動いたか？支援活動はどう進められたか？について、報告や体験談をとおして、学べます。

# 全国防災対策会議 報告書

～地域の「災害ネットワークづくり」を目指して～



A4判 102頁  
頒布価格 1,000円

2013年3月16・17日に兵庫県神戸市で開催しました「全国防災対策会議」の報告書です。

東日本大震災支援活動や地域における防災体制に関する様々な事例と今後の課題に関する協議・提案が報告されています。

また、東京大学総合防災情報研究センター長・田中淳氏の講演から地域防災に関する重要なポイントを学ぶことができます。

「災害ネットワーク」確立のため、地域の防災学習会等で、ぜひ本書をご活用ください。